

『“団体戦”と“共同作業”！？』

まもなく11月も終わろうとしています。最近は気温もグッと下がり、いよいよ本格的に冬の季節に突入といった感じですね。2学期も残すところあとわずか…、本当に早いものです。期末考査が終わって10日あまりが過ぎ、そろそろ気持ちを切り替えて次なる取り組みに入っているのでしょうか？希望する進路に向けて、必要なことを地道に、そして根気よく取り組んでいくことが大切です。これからの毎日の過ごし方次第で、みなさんの「夢」は「現実」に近づいていくのです…。

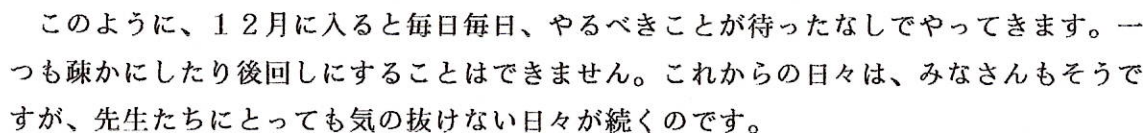
さて、12月に入ると「進路決定」に向けての取り組みも、本格的に動き始めます。期末考査が終わったあとの先週1週間、結構慌ただしく毎日が過ぎ去ってしまいましたね。水曜日にテストが終わり、翌日から各教科でテスト返却が行われました。その後、教科によっては、「テスト直しの提出」「ノート提出」という指示が出たり、「単元別テスト」が行われたりしました。24日にはテストの集計結果が返却されて、反省を記入しました。今までのテスト後と比べると、明らかに日程が詰まっていたですね。それには訳があるのです…。ちょうどいい機会なので、みなさんにも11月末から12月初めにかけての動きを、細かく見てもらいましょう。実は、こんなに予定が立て込んでいるのです…。

		予 定	先生たちの動き
11/16(木)	3校時	期末考査終了	テスト採点
17(木)~		答案返却・直しノート等提出	答案確認・訂正
24(木)	3校時	テスト集計結果返却、反省記入	
25(金)	放課後~		「仮評定」算出・確認
28(月)	放課後		「進路判定会議」資料作成
29(火)	放課後	「進路判定会議Ⅰ」	
30(水)	放課後	仮評定伝達・「進路判定会議Ⅱ」	「三者面談」準備
12/1(木)	放課後	「三者面談」開始	相談内容整理
8(木)	放課後	「三者面談」終了	私立受験希望者台帳記入
9(金)~	放課後		「入試相談」資料作成
15(木)		「入試相談」開始	学校訪問・郵送

まず、三者面談でみなさんに伝える『仮評定』とは、あなたが入試を受ける際の推薦基
や調査書点に使われる「3年生の成績」のことです。では、どうして“仮”という言葉
についているのかですが、今学期の成績は本来は12月23日の終業式の日に渡されるも
です。しかし、それでは「三者面談」や「入試相談」には間に合いません。そのために
1月末日の時点で、3年生の成績をつける必要があるのです。では、「仮評定」という
とは今後変わることがあるのかですが、このあと評価が上がることは一切ありません。

次に『進路判定会議』についてです。これは、みなさんが希望する進路先に合格する見通しを検討し合う会議です。今回算出された『仮評定』を元に、みなさんから提出された「進路希望調査」に書かれている志望校の合格基準と照らし合わせて、3年生担当の7名の教員で話し合います。3年生144名全員の進路希望を、一人一人ていねいに確認していきます。各担任の先生は、それを受けて「三者面談」に臨むことになるのです。

最後に、『入試相談』についてです。この制度は、東京都の私立高校で実施されているもので、推薦入試や併願優遇入試など、特別な形態での受験を希望する生徒の相談を行うものです。中学校で志望者の書類を作成し、高等学校に持参（一部郵送）して検討していただきます。直前の「三者面談」で志望の確認を行い、意思が固まり必要書類が整った生徒について書類を作成し、7人で手分けをして高校を訪問します。



だからこそ！大切になってくるのは“人と人との信頼”です。この時期、だんだんと不安な気持ちにおそわれて、落ち着かない気持ちになってしまうものです。でも、そんなときのために、ずっとみなさんに呼びかけてきたのが『進路は団体戦』という言葉でした。これまでに培ってきた仲間との信頼関係を、ぜひここで力強く発揮していきましょう！

それでもう一つ、意識してほしいことは『進路は共同作業』ということです。ここまで
に説明したように、入試を迎えるまでには様々な準備が必要です。しかし、それは先生た
ちだけで整えることはできません。みなさんが自分でやるべきことをしっかりと取り組み、
先生たちも責任をもって役割を果たして、初めて準備が整うのです。だからこそ、みなさ
んには提出物などは期限を守って出してもらわなくては困りますし、下校後に地域にご迷
惑をかけて先生たちが対応するなどということがあってはならないのです…。

これからの大切な時期を、目指す進路に向かって自分の足で一步一步進んでいき、笑顔で春を迎えられるように、仲間と一緒に頑張っていきましょう！！